

ご使用上のご注意 (はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を見逃し、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

電波時計について

電波時計とは

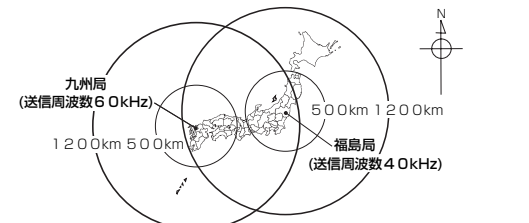
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
 ※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
 標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。
 標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

■誤飲による事故防止について

小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
 ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
 ●+(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてください。
 ●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
 ●指定された電池を使用してください。
 ●使い切った電池は速やかに取り出してください。
 ●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
 ●電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
 ●電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
 機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
 ●温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所、暖房器具等の熱風や火気に近い所。
 ●温度が0℃以下になる所。(性能が低下することがあります。)
 ●浴室など湿気が多いところ。
 ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
 ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 ●温泉場など、ガスの発生する所。
 ●多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
 ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。
 ●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
 ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

こんなときには (Q&A)

時計が正しい時刻で動いていない。

- 受信マークが表示されているか確認してください。受信マークが消えている場合は正常に受信できていないためです。「電波を受信できない場合」をご覧ください。受信マークが表示されている場合は、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信操作をしてください。誤受信を繰り返す場合は設置場所を変えてください。

指定した時刻にアラームが鳴らない。

- 12時間制になっているときは午前・午後を確認してください。
- 電波を受信できる、できないに関係なくご利用いただけます。受信できない場合は、手動で現在時刻を合わせてからお使いください。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

- 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「情報通信研究機構」のホームページに掲載されています。ホームページアドレス http://jjy.nict.go.jp
- 近くにノイズの発生源がある可能性があります。場所を変えて受信できるか確認してください。

海外で使えますか。

- 日本以外の電波は受信できません。また、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、ノイズにより誤表示することがありますので、海外でのご使用はお勧めいたしません。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換をさせていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ032」をお伝えください。

お問い合わせ先

お客様相談室 ☎0120-557-005
受付時間 9:00~17:45 (土日、祝日および当社休日除く)

発売元 リズム時計工業株式会社
 本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp> (Y0608)

■販売店の方へ
 この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。
■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)

※ 送料・出張料は、実費をいただきます。

受付年月日	修理内容	確認印

電波時計 デジタル電子音目覚まし時計 取扱説明書 / 保証書

～ 製品の特長 ～
 標準電波を自動的に受信して現在時刻を修正
 電子音アラーム
 便利なカレンダー・温度表示

お買い上げありがとうございます。
 ○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 8RZ032-1

GUARANTEE

保証書

取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

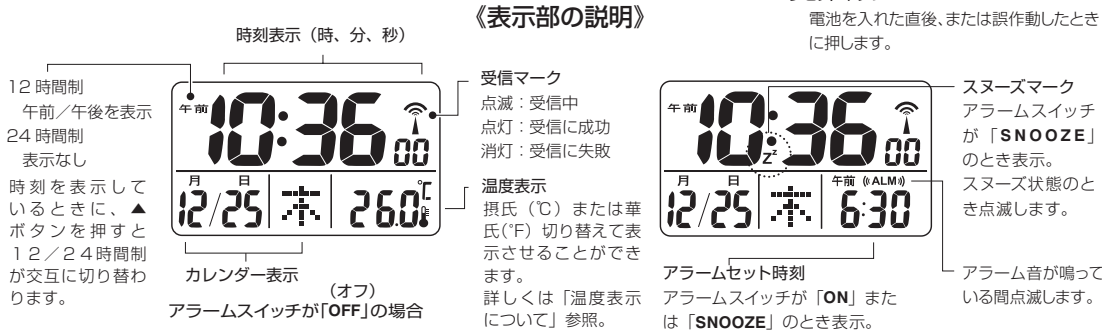
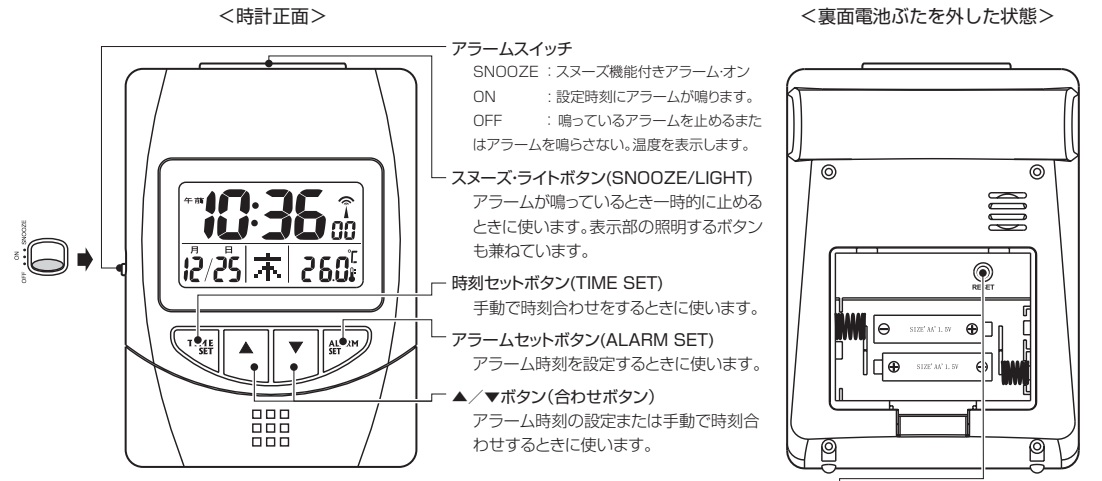
※品名・型番
 ※保証期間
 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様ご氏名
 ご住所
 TEL () -
 ※販売店所在地

※店名

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
 ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。●この保証書は国内のみ有効です。
 This guarantee is valid only in Japan. ※印は販売店記入

各部の名称と役割



電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

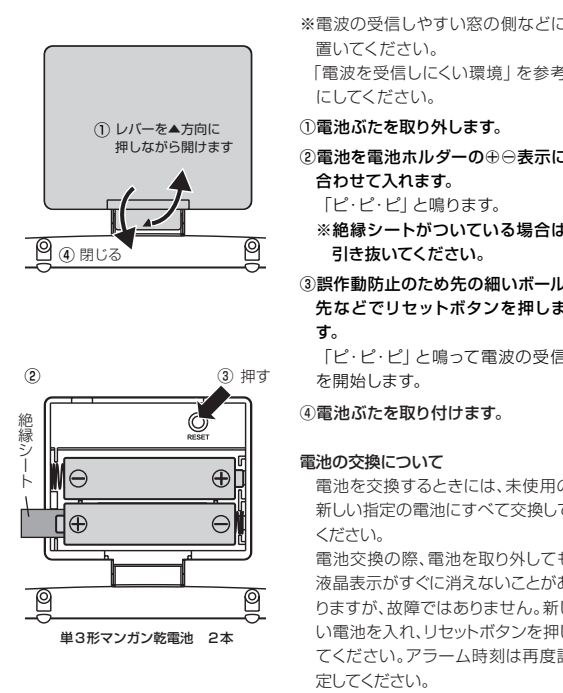
●場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)になるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。次に、強制受信操作をして結果確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合わせ方
- 時刻セットボタンを時刻表示が点滅するまで約3秒間押し続けます。
 - 時刻(時、分、秒)、西暦年、月、日の順に設定します。
 - ▲(進む)、▼(戻る)ボタンを押して数値を合わせます。
 - ▲または▼ボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻セットボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※手動で時刻合わせをしても、自動受信を行ない、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。
- ※約4秒間ボタン操作がされなかったときには、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

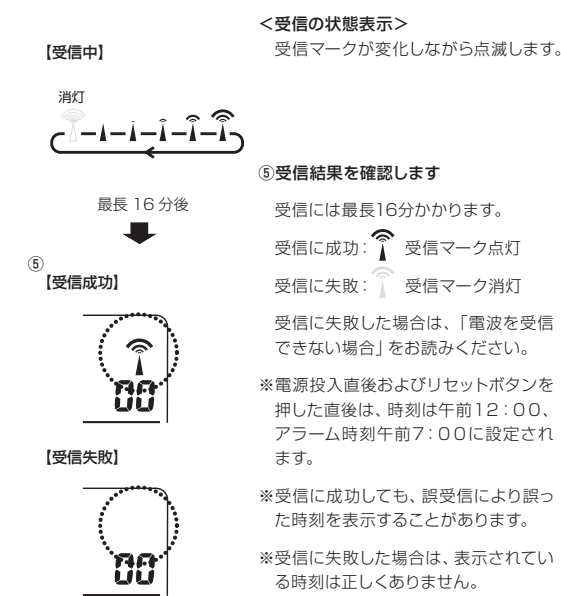
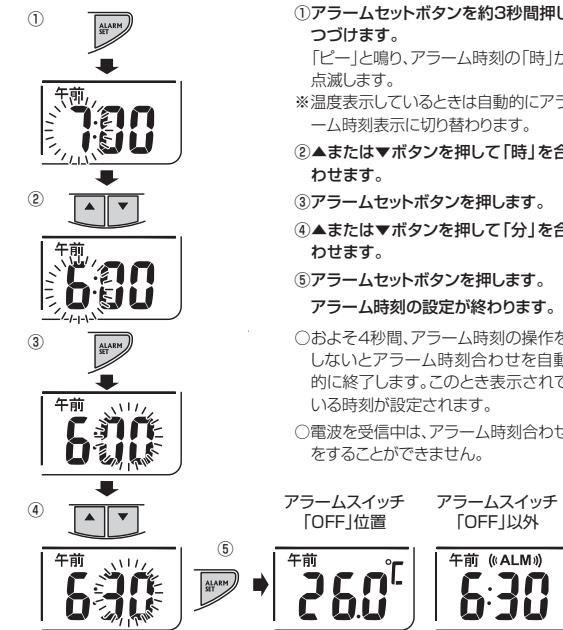


1.電池を入れて受信を開始します



2.アラームの使い方

アラーム時刻の合わせ方



アラームスイッチの設定

アラームスイッチの位置	表示	ボタン操作	結果
スヌーズ	(ALM)	スヌーズ・ライトボタン	アラーム音は一時的に停止し、約5分後にまた鳴り出します。スヌーズ中はZ ² マークが点滅します。
SNOOZE	Z	時刻セットボタン アラームセットボタン ▲/▼ボタン	アラーム音は停止します。アラームスイッチは「オン」状態のままです。翌日のアラーム時刻に再び鳴り出します。
オン	(ALM)	スヌーズ・ライトボタン 時刻セットボタン アラームセットボタン ▲/▼ボタン	アラーム音は停止します。アラームスイッチは「オン」状態のままです。翌日のアラーム時刻に再び鳴り出します。
オフ	温度表示		アラームは鳴りません。アラームが鳴っているときは、この位置にするまで止まりません。

アラームオートストップ機能について
アラーム音は約2分間鳴り続けると自動的に終了します。自動的に停止した場合、アラームスイッチは「オン」状態のままです。翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

スヌーズ機能について(アラームスイッチ:スヌーズ位置)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音が停止してまた鳴り出します。この操作は最大7回までです。7回目以降のZ²表示は点灯表示になります。完全に止めるときには、アラームスイッチを「OFF」位置にしてください。

◎操作音について
▲または▼ボタンなどを押したときに「ビ」と操作確認音が鳴ります。

温度表示について

温度センサーにより温度を表示します。センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示に反映するまでには時間がかかります。温度が49.5°C以上になるとH.H.Hを、-9.5°C以下ではL.L.Lを表示します。0°C以下では温度の精度が悪くなります。※+49.5°Cを超えた場合、誤表示することがあります。

摂氏(°C)と華氏(°F)の表示切り替え方法
温度を表示している状態で▼ボタンを押すと摂氏と華氏表示が切り替わります。

強制受信操作について

電波受信を開始したいときには、▲ボタンと▼ボタンを同時に約3秒間押し続けると「ビ」と音がして受信を開始します。また、受信を中止するときも同様に▲ボタンと▼ボタンを同時に約3秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

強制受信操作とリセットボタンについて

- 強制受信操作は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。
- リセットボタンは、電源を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。時刻は午前12:00、アラームは午前7:00に初期化されます。

表示部の照明について

スヌーズ・ライトボタンを押すと約5秒間表示部を照明します。液晶には方向性があり、下方から見ると表示が見えにくくなります。また、明るいところを見た場合、照明の効果はありません。※電波受信中はスヌーズ・ライトボタンを押しても照明しません。

製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	0~+50°C(液晶表示温度範囲0~+40°C)
使用電池	単3形マンガン乾電池(JIS規格R6P) 2本
電池寿命	1年間 1日にアラーム30秒、ライト10秒使用
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音(鳴り方が変化)
その他	標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日1回 最多 4回 時刻表示 12時間/24時間切り替え表示 カレンダー 2003~2069年 西暦、月、曜日 アラームオートストップ、スヌーズ 温度表示 -9.5~+49.5°C 摂氏/華氏切り替え 温度精度 ±2°C(0~49.5°C)

○付属の電池は工場出荷時に入れているので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見えにくくなる場合があります。

○0~40°Cの温度範囲を超える、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。